

重点事業 10

ごみの減量化とリサイクル推進事業

【継続】

＜市民課環境衛生係 担当＞

総合計画の体系	2生活・環境	(2)生活環境	①自然環境の保全
---------	--------	---------	----------

主な事業内容

Recycle(リサイクル・再生利用)、Reuse(リユース・再使用)、Reduce(リデュース・発生抑制)、これら3つのRから始まるキーワードを合わせて、3R(スリーアール)と呼びます。3Rに取り組むことによりごみの減量や資源を有効利用することに役立ちます。本市においては、4分別10種類によるごみの分別の実施のうち、資源ごみ(缶ほか6種類)及び生ごみがリサイクルされることにより、ごみの減量化が図られ、ごみ処理センターへの埋立量が減少し、施設の延命効果が現れていることから、資源ごみについては、資源ごみ保管施設の適正な維持管理の実行及び空き缶等資源ごみ処理機械の計画的な更新を行います。また、生ごみについては、中空知衛生施設組合(リサイクルリン)へ搬入して広域共同処理を継続し、ごみの減量化と資源の有効活用を図ります。

さらに、使用済小型家電を4か所、古着を12か所で拠点回収し、レアメタル及び繊維類のリサイクルに努めます。



※資源ごみ保管施設の概要

- 空き缶処理施設 (H7.12～)
空き缶自動選別プレス機
- ペットボトル・紙パック処理施設 (H10.10～)
ペットボトル減容機・フォークリフト
- プラスチック製容器包装・紙製容器包装
処理施設 (H12.12～)
プラスチック製容器包装減容機 (1号機・2号機)
- 空きびんストックヤード (H12.12～)
色選別方式

主な経費

年度	取組内容		事業費	事業の財源	
30	ごみ減量化推進事業	廃棄物減量等推進会議の開催等	12万円	市の負担額 3,368万円	
	生ごみの広域共同処理事業	中空知衛生施設組合負担金	3,326万円		
	使用済小型家電の回収・リサイクル事業		30万円		
	古着の回収・リサイクル事業		予算を要しない		
	平成30年度総事業費		3,368万円		
31	ごみ減量化推進事業	廃棄物減量等推進会議の開催等	12万円	市の負担額 3,368万円	
	生ごみの広域共同処理事業	中空知衛生施設組合負担金	3,326万円		
	使用済小型家電の回収・リサイクル事業		30万円		
	古着の回収・リサイクル事業		予算を要しない		
	平成31年度総事業費		3,368万円		